

Vol. 56 2015.3

Newsletter

35年間の活動の記録を発行しました

『36年目からの挑戦 ~外国出身者への支援』を読んで

西原 鈴子 [社会福祉法人さぽうと21評議員・国際交流基金 日本語国際センター所長]

『報告』の表題にある「36」という数字は、難民を助ける会が創立された1979年から35年目に当たる2014年を原点として、その国内活動を分離して1992年に発足したさぽうと21が、これまでの活動の積み重ねと、国や社会に働きかけた活動の成果をまとめ、日本がやがて迎えようとしている世界各国の人々との共生社会を前にこれからの活動に臨む2015年を指す。

さぽうと21の活動紹介(第2章)をはさんで、インドシナ出身3人のライフ・ヒストリー(第1章)、さぽうと21の支援生紹介(第3章)という3部構成の内容は、感動なしに読むことはできない。紹介されている人々の人生の軌跡に対する称賛と共に、これからの歩みにエールを送りたい。

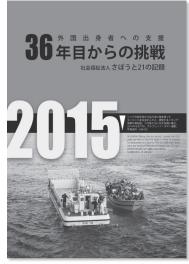
私が特に注目したのは、この報告を通奏低音のように貫く、組織としての「まなざし」である。「エンパワメント」ということばが一般に知られていない時から、外国出身者の社会参加と自立に寄り添って、静かに、しかし断固として社会をリードしてきた貢献に改めて敬意を表したい。そして36年目以降の活動に大きく期待したいと思う。

平澤 文美 [一橋大学大学院博士課程 国際移民研究]

この度、現在の支援生や長年日本に暮らしてきた難民第一世代について記録した本誌が刊行されたことを大変意義深く受けとめています。難民として国を離れた人の声は、その体制下の"正史"には残りません。激動の歴史を生きたもう一方の当事者でありながら、彼らの経験はこのような形で残さない限りそれぞれの胸に収められたまま埋もれてしまいます。巻末には過去の文集の数篇が掲載されています。彼の時の若者と同年代にある今の若い世代にもぜひ読んでほしいと思いました。

平井 公子 [学習支援室ボランティア]

みなさんの「声」は、どれもストレートに心に響くものばかりでした。 36年前に、1人の女性が行動を起こした事でたくさんの難民の人生 が開かれることになった。そして、現在もその意思を受け継ぐスタッ フの方、ボランティアの方々。人を思う気持ち「優しさ」がどんどん 繋がっていく。この本を読み終えた時、この団体の素晴らしさと、日 本に生まれ安全に生活ができる事に感謝しなければいけないなと感じ ました。



B5 版、64 ページ (フルカラー 48p +モノクロ 16p)

ベトナム戦争終結 (1975年)後の混乱に伴い来日したインドシナ難民と、日本で育った第二世代の若者たち。言葉が不自由な中で必死に働く親を助け、日本で自己実現を目指す日系定住者の子弟。祖父母が生まれた「日本」と自分が生まれた「中国」の二つの祖国を持つ中国帰国者の子弟。苦難を乗り越え、日本社会の一員として生活してきた外国出身者の「これまで」と「これから」を、インタビューをもとにお伝えします。

お申込み方法 (送料込み・1部1,000円)

お電話、Email などでご希望の冊数を お知らせください。

冊子送付時に郵便振替用紙を同封しますので、お近くの郵便局でお振込ください。

社会福祉法人さぽうと21事務局 (担当:福田/中谷)

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル3F

TEL: 03-5449-1331

E-mail: info@support21.or.jp

難民など、外国につながる学生たちが語る『今と未来』

◆ 日 時 : 2014年12月20日(土)午後1時半~4時半

◆ 会 場 : 東洋熱工業株式会社 本社ビル 3階 大会議室 (東京都中央区京橋)

2005年にスタートした「坪井一郎・仁子 学生支援プログラム」も10年目を迎えました。

本年度は、東洋熱工業株式会社様の会議室での実施。同社の創業者である坪井 一郎様のお名前を冠した基金の発表の場としては、またとない機会です。

雨にも関わらず、当日は50名近くの方が来場されました。

ベトナム・カンボジア・中国・ペルー・アルゼンチン出身の学生たちが、大学や大学 院での研究の成果を発表。

- ●「遺伝子産物であるタンパク質の理解」
- ■「『2025年問題』に対応するために 高齢化社会を支える 『パターン認識』の研究-」
- 「iPS 細胞を用いた疾患再現研究」
- ●「人にまつわる『思い込み』が行動に及ぼす影響
 - 『思い込み』の伝播とその受け止められ方について- 」 など





国の垣根を越えて、驚きや感動を届けたい



私は中国籍で、小学生の時に両親と来日し、日本で育ちました。現在は東北大学大学院の工学研究科で学び、4月から日本のある電機メーカーの開発職として勤めます。工学部を選んだきっかけは、

幼少からテレビ、インターネット、音楽プレイヤー、ゲーム機など目まぐるしく進化する様々な電子機器にワクワクさせられ、これらの源流である工学という学問を学びたいと思ったためです。人をワクワクさせるような新し

于 冰(ウビン) / 出身:中国、大学院生

い製品を作ることを仕事にしたいと思い、電機メーカーを選びました。また、電機業界はグローバル化がいち早く進んだ業界でもあり、自分のような人間の持つバックグランドを生かす機会が多いのではと考えたことも決め手でした。

就職は、主に個人向けのコンシューマー製品を手がけ、 世界の人々の現地のニーズにもとづくユニークな商品を 多数生み出しているグローバルな企業です。国の垣根 を越えて、世界の人々に驚きや感動を届けられる製品を 作りたいと思っています。

"今"を楽しんで、一歩踏み出します!



私は日本で生まれ育ったベトナム人です。立教大学文学部史学科で、主に12世紀フランスを中心とした紛争史を研究しています。将来は高校教師になろうと考えていましたが、まずは社会に出て経験を蓄えてから改めて決断し

ようと考え、4月から小麦粉を主力とする大手食品メーカーへの就職を決めました。

就職活動では「人々の身近なところから新しいものを 世界に生み出したい」という軸を持って臨みました。内

グエン ニャット アウ / 出身:ベトナム、大学生

定先は小麦という今や生活に欠かせない主食のひとつを主事業とし、世界規模でビジネスを一層加速させていく姿勢を見せています。この企業で国内、国外問わず経験を積み、将来は「何年経っても愛される商品」を作ることを目標にしています。

高校教師という夢もまだ残っていて、迷っているのが 現状です。自分にとって「やりたいことは何か」をしっ かりと考え、自分の意思で決断して進路を選んでいきま す。そのために、卒業までの残された"今"を可能な限 り充実させて過ごしていきたいです。

平成26年度 文化庁委託事業

より多様に、より豊かに。。。 成長を続ける日本語教育の「現場」がここに

今年度も文化庁委託事業を受託し、通常の学習支援 室の運営に加えて、より幅広い日本語教育を展開するこ とができました。

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業、

地域日本語教育実践プログラム(A) でば日本語教育」「人材育成」「教材作成」の3つの取り組みを実施することが期待されています。

今年度の各取り組みにつき、その一部をご紹介します。

その1 日本語教育の実施

文化庁委託による「難民向け初級日本語教室」の開催は4年目となりました。「プロ講師・アシスタント・ボランティア」協働の、効果的な日本語教育支援の場として評価が高まり、関連団体や支援室学習者からの紹介が年々増加しています。

今年度は、通常の「日本語教室」に加えて、「通訳付き・やさしい日本語による 生活関連セミナー」も実施し、大きな成果をおさめました。「年金」「女性の健康」「食育」などについての話に懸命に耳を傾け、ノートをとる皆さんの真剣な姿勢は、「日本に定住」し、「自分や家族をしっかり守っていこう」という覚悟を感じさせるものでした。また、その一方で、「スキンケア」で女性陣が見せたキラキラした表情も印象的です。

通訳は、日本語能力試験N1に合格した、支援室学習者の皆さんにお願いをしました。各コミュニティのリーダー的役割を担うに相応しい人材が育ちつつあることを実感しました。

・・・「頼もしい」 学習者たちです。



とにかく真剣!

その2 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

昨年度に続き、「理解を深める講座」と「スキルアップ講座」を実施しました。「スキルアップ講座」には、東京や埼玉の地域日本語教室で活動するボランティアの皆さんがご参加くださいました。今年度は講座受講者に、上記「日本語教育」の「生活関連セミナー」全10回中4回を、実際にご担当いただきました。他でもあまり例のみられない「実践あり」の研修です。講座受講者は4つのチームに分かれ、「企画」「内容検討」「準備」「実践」「振り返り」という一連の流れを実際に経験しました。途中、どのチームも「協働」の難しさや大変さ、実施に至る様々な気苦労を訴えていましたが、どの実践も素晴らしい仕上がりでした。各チームが選んだテーマは「自転車の安全な乗り方」「スキンケアと身だしなみ」「面接を受けよう」「お弁当をつくろう」と、多岐にわたりました。

・・・「心強い」地域日本語教室ボランティアです。



「どんなセミナーをしようか?」 ・・産みの苦しみを実感・・

その3 日本語教育のための学習教材の作成

まずは、これまであちこちで紹介されている動画教材の「紙教材化」を完了させることが大きな目標でした。ネット環境が整っていない日本語教室も多いことから、まだまだ地域の日本語教室では「紙」の教材が必要とされています。何度も打合せを行い、イラストも手作りの、温かな紙教材ができあがりました。そして、上記「生活関連セミナー」で作成された教材を整理し、「ワークショップ実践集」を作成しました。全国どこの地域でも「何か外国人向けセミナーをやってみたい」と思った時に参考にすることのできる「実践集」です。「ふりがな付き」「やさしい日本語」「飽きさせない展開」に配慮した、外国人向けの生活関連セミナーは、これからさらに充実していくことが期待されます。

それら全ての教材は、さぽうと21のホームページ、「教材バンク」のコーナーで無料公開されており、自由にお使いいただけます。

・・・「お役立ち」の「教材バンク」です。



いろいろなテーマで作成、「生活関連セミナー」教材



仮設/復興住宅でのサロン活動実施報告 (福島県相馬市・南相馬市)

東日本大震災発生直後より、サンキョー株式会社様をはじめとす る多くの方々のお力添えにより、岩手、宮城、福島の3県で支援活 動を続けてきました。2014年10月からは、南相馬市社会福祉協議 会による市内の仮設住宅や復興住宅での「サロン活動」に協力し、 特に避難生活が長期化している年配の方を訪問しております。

2014年12月には、同行してくださったボランティア2名とともに、 南相馬市の仮設住宅にて「みんなで歌おう」という企画を実施。室 内にこもりがちな入居者が、楽しく体も動かせるよう、「いつでも夢を」 「瀬戸の花嫁」「三百六十五歩のマーチ」 などの懐かしの歌謡曲の歌詞 カードを用意して、皆で歌いました。

今後も生活再建が進まない被災者の方のための活動に取り組んで まいります。



懐かしの歌謡曲。 歌声にもハリが出ます!



音楽に合わせて固まった体を ほくしましょう!

さぽうと21の姉妹団体、AAR Japan が下記イベントを主催いたします



宮沢リえさん特別出演 ~チャリティ朗説ヨシサート~



【日時】2015年**4月29日 (水・祝)** 14時開演

【会場】 サントリーホール 大ホール (東京都港区赤坂1-13-1)

【出演】 萩原麻未 (ピアノ)、宮沢りえ (朗読) 他

【曲目】ショパン:ピアノ協奏曲第1番(室内楽版)他

イベントの詳細は、同封のチラシをご覧ください。 多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

共 催 社会福祉法人さぽうと21

AAR Japan [難民を助ける会] TEL: 03-5423-4511



2015年度 年会費更新のお願い

2014年度も1年を通じてお力添えを賜り、深く御礼申し上げます。 新年度に向け、さぽうと21では新たに就学を支援する学生の選 考が進んでおります。

№ 経済的に困難な状況にありながらも進学や就職に向けて努力を 惜しまない難民等の方々の自立支援に、今後とも変わらぬご支援 をよろしくお願い申し上げます。

会員年度は、2015年4月から翌年3月までとなっております ◆





Vol.56 2015.3

社会福祉法人 さぽうと2

理事長 吹浦 忠正

社会福祉法人さぽうと21は…

日本国内で生活するうえで困難をきたしている難民や その家族、在日外国人および元外国籍の人々の相談に乗 り、また自立支援活動を行う社会福祉法人です。

認定NPO法人難民を助ける会(AAR JAPAN)を母体に、 その国内事業を受け継ぎ、厚生省(当時)認可の社会福祉 法人として1992年に設立されました。

「困った時はお互い様」をモットーに、日本国内で政治、 宗教に中立な立場で活動しています。

学業継続のための経済支援を中心に、生活困窮者に対す る幅広い生活支援を実施しております。

私たちの活動を応援してくださる方を 求めています!

■会 員:法人会費 50,000円 5,000円 : 個人会費

■ご寄付: 随時受付

会費・ご寄付とも税法上の優遇措置が受けられます

◆会費・寄付のご送金□座◆

振替口座:00180-7-25470 ゆうちょ銀行

加入者名: 社会福祉法人 さぽうと21 ※通信欄に会費または寄付とご明記ください

目黒支店(普) 851872

三井住友銀行 名 義:社会福祉法人 さぽうとにじゅういち

目黒支店(普) 1180279 みずほ銀行

名義: 社会福祉法人 さぽうとにじゅういち

※銀行振込み後は事務局までご一報ください

お問い合わせ

社会福祉法人 さぽうと21

住所:

T141-0021

東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル3階

FAX:

03-5449-1331 03-5449-1332

LIRI:

info@support21.or.jp http://www.support21.or.jp

